

# 10 October

10月\*神無月\*

月の別名▶時雨月(しぐれづき) 初霜月(はつしもづき) 15日の日の出5時47分⇒日の入り17時6分 太陽のいる星座▶てんびん座★9月23日～10月21日★ 寒露▶冷たい露の結ぶ頃の意味。秋の長雨が終わり、稲刈りもそろそろ終わります。霜降▶霜が降りるほど寒くなってきた、という意味。北国や山を紅葉が飾り始めます

思わぬ野鳥たちと出会いがあるころ。澄みきった青空を、南に向かうアマツバメやカケスが渡り、公園では越冬地に向かうエゾビタキやキビタキが実ったミズキやエノキで栄養補給です。中目黒公園の原っぱでは、ショウリョウバッタやオンブバッタが過ぎて

いく季節を惜しむように草を食みます。赤や黄色に染まり始めた草もみじ、赤とんぼやモズの高鳴きに秋の深まりを感じながら身近な公園を散策してみましよう。碑文谷公園の池にもカモたちが飛来。キンモクセイの香りに始まる秋の月

- 1 目黒区民の日  
キンモクセイの咲くころ
- 2 ケルネル田んぼイナゴが目立つころ
- 3 駒場野公園マミチャジナイの渡って来るころ
- 4 カケスが上空を通過するのを見るころ
- 5 ヨウシュヤマゴボウ黒い実でインク遊び
- 6
- 7 ケルネル田んぼにカカシ並ぶころ
- 8 このころ寒露  
那覇ススキ開花
- 9
- 10 林試の森公園エゾビタキ秋の渡りのころ
- 11 体育の日(第2月曜日)
- 12 目黒川船入場オナガガモ飛来のころ
- 13 駒場公園シラカシなどどんぐりの実るころ
- 14 ケルネル田んぼ稲刈りをすめるころ
- 15 シメ渡って来るころ
- 16
- 17 読書週間  
アカタテハ見るころ
- 18 アオジ渡って来るころ
- 19
- 20 碑文谷公園池キンクロハジロが渡って来るころ
- 21 このころ土用
- 22
- 23 このころ霜降  
ジョウビタキ渡来のころ
- 24 スッポンタケの出るころ
- 25 アメリカセンダングサ盛り  
盛岡イチョウ黄葉
- 26 ウグイスが渡って来るころ  
上空通過のカワウ群を見る
- 27
- 28 目黒区緑化都市宣言の日
- 29 目黒川にカムチャッカ半島などからユリカモメ飛来
- 30 秋田イチョウ黄葉
- 31
- 34



ノブドウ

# 11 November

霜月\*

月の別名▶神楽月(かぐらつき) 露ごもりの葉月(つゆごもりのはづき) 雪待月(ゆきまちづき) 15日の日の出6時16分⇒日の入り16時35分 太陽のいる星座▶さそり座★10月22日～11月21日★ 立冬▶冬が立ち、この日から立春までが冬。日は短くなり、北国から雪の便りが届きます。小雪▶そろそろ雪がふり始めるころという意味

北国からツグミやアオジが渡ってきて、冬鳥たちの顔ぶれが揃うころ。シジュウカラは幼鳥の区別もなくなり、時にはコゲラやウグイスなどと混群をつくって庭の木立を巡るようになります。秋は蝶の種類や数も多く、中目黒公園の花壇にはヒメアカタテハや

ベニシジミなどが晩秋の日差しの中に舞います。カマキリが卵のはいたった鞘を産みつけて、次の世代に未来を託します。木々は紅葉を始め、月の終わりのころには最初の北からの季節風、木枯らし1号が吹いていきものたちが耐え忍ぶ季節の到来です

- 1 青森イチョウ黄葉
- 2
- 3 文化の日  
ツグミが渡って来るころ
- 4
- 5 ヤマガラ見るころ
- 6
- 7 このころ立冬
- 8 青森イロハカエデ紅葉
- 9 サザンカが咲き始めるころ
- 10 上空を通過するタカ類を見ることが多い時期
- 11 新潟イロハカエデ紅葉
- 12
- 13 駒沢オリンピック公園ムラ  
サキシジミ見るころ
- 14 東京初霜平均日
- 15 七五三  
イイギリの実が赤くなるころ
- 16
- 17 しし座流星群極大日
- 18 イチョウ黄葉するころ
- 19 大阪イチョウ黄葉
- 20
- 21
- 22 このころ小雪
- 23 勤労感謝の日  
鹿児島イチョウ黄葉
- 24
- 25 駒場野公園ホソミオツネン  
トンボを見るころ
- 26 大分イロハカエデ紅葉
- 27
- 28 東京イロハカエデ紅葉
- 29
- 30 長崎イロハカエデ紅葉



ユリカモメ